

「うたごえ広場」の再開と地域交流

早川 純子

「うたごえ広場」は、2010(H22)年4月に本学人間発達学部子ども教育学科が開設したことを記念して開始した、地域交流と学生の成果発表を目的とした音楽会である。ピアノの伴奏に合わせて参加者全員が声を合わせて歌う形式で進行し、参加者が歌詞集から選んだリクエスト曲を歌う。実施日程は毎月最終金曜日で、8月と3月を除く全ての月において、18時から19時の1時間実施してきた。会の途中には休憩を兼ねて、学生や地域の演奏家による演奏を鑑賞する機会を設けている。会場は、都城キャンパス本館1階ロビーのオープンスペースであり、通りすがりの学生や教職員も気軽に参加できる環境である。吹き抜けの空間により程よい残響もあって歌うには心地よい。この音楽会は、毎年回を重ねていき、2020年2月には100回目の大きな節目を迎える予定だった。しかし、新型コロナによるパンデミックの影響で、一時休止せざるを得なくなった。ようやく今年度には、3年の中断を経て再び音楽の交流を再開。コロナの収束と皆の再会、そして「うたごえ広場」の再開を祝うべく、100回目は記念すべき回となった。この特別な回では、南九グリーの学生達が歌って踊るパワフルなパフォーマンスを披露し、お客様も一体となったお祭りのようなひとときとなった。この様子は、学生と地域住民の音楽を通じた交流として、地元紙にも大きく取り上げられた。

2023年度の活動

2023年度は、上述の第100回を皮切りに、奇数月に5回実施した¹。実施日程、またゲストは以下の通りである。

- 第100回：令和5年5月26日(金)
 ゲスト：南九グリー(大学サークル)
 第101回：令和5年7月28日(金)
 ゲスト：牧原裕樹(ギター)
 第102回：令和5年9月29日(金)
 ゲスト：ブレイメン(フルートとピアノ)
 第103回：令和5年11月24日(金)

特別企画(大学公開講座)「永吉愛が奏でる
 スクールソング初演ライブ」

第104回：令和6年1月26日(金)

ゲスト：子ども教育学科令和5年度「教科教育法(音楽)」受講者44名(合唱)

地域の声

第1回からの参加者、一万城南公民館館長、齋藤卓治氏は「うたごえ広場」の存在について「敷居の高い大学との関わりが音楽を通してできることは嬉しい。市民との接点の場として最高の存在ではないだろうか」(2024年2月26日のインタビュー)と語ってくれた。今後も、地域に歌声と笑顔が溢れるよう、音楽を通して地域交流に積極的に取り組んでいきたい。



第100回、第104回の開催を伝えるチラシ



第104回で合唱を披露する学生達

参考文献

- 西村(早川)純子(2011)「うたごえ広場」実施報告——地域交流の観点から『南九州大学人間発達研究』第1巻
 宮崎日日新聞(2023年6月21日)「南九州大学都城キャンパス うたごえ広場100回到達」

1 2024年3月は春休みのため予定していない。